科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：偉人脳機能障害列伝−精神・発達障害は本当に「障害」？ ILAS Seminar :Introduction to Evolutionary Psychiatry - Are psychiatric disorder really disorder?			担当者所属 職名・氏名	情報学研究科 准教授　後藤　幸織		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	12 (5) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 未定	教室	未定			使用言語	日本語及び英語
キーワード	脳科学 / 精神医学 / 病跡学 / 脳の進化 / 心理実験						

[授業の概要・目的]

歴史上の傑出した芸術家や科学者などの多くが、脳機能障害、とりわけ、精神疾患や発達障害を持っていたことが知られています。本ゼミナールは、このような歴史上の人物の紹介を通じて、精神疾患や発達障害は「人間にとって、はたして本当に病気や障害なのか？」「生物の進化の過程において、なぜ、そして、どのように派生してきたのか？」といった疑問を討論します。また、精神疾患や発達障害の生物学的メカニズムの解明に向けた神経科学・心理学実験などの実習体験を通じて、理解を深めていただきたいと思います。

[到達目標]

・精神疾患や発達障害とは何か（脳神経生物学的なメカニズム、ヒトにとっての存在意義、療育や治療方法の現状など）について理解する。

・心理学や脳神経科学研究の基礎について理解する。

[授業計画と内容]

I.授業形式・日程・場所

夏期休暇中（８月最終週～９月第１週を予定）の４日間の集中講義形式で行います。５名以上の受講希望者がいた場合は、２グループに分けて行います。

講義ならびに心理実験体験等の実習を行います。

開講は医学部構内先端科学研究棟と関田南研究棟内にある研究室を予定しています。

II.講義・実習の内容

(1)精神・発達障害を持っていたといわれる歴史上の偉人の紹介を交えながら、精神疾患や発達障害とはヒトにとって何なのか、といった疑問などの講義、討論を行います。

(2) 精神・発達障害の生物学的メカニズムに関する最新の研究の紹介などを交えながら、生物の進化から見た精神疾患や発達障害の理解についての講義、討論を行います。

(3)心理実験体験。

ILASセミナー：偉人脳機能障害列伝−精神・発達障害は本当に「障害」？(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー：偉人脳機能障害列伝−精神・発達障害は本当に「障害」？(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点評価(出席状況と議論への参加度(100%))

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

デイヴィッド ホロビン『天才と分裂病の進化論』（新潮社）ISBN:978-4105419011
イアン ジェイムズ『アスペルガーの偉人たち』（スペクトラム出版社）ISBN:978-4902082074
ランドルフ・M. ネシー、ジョージ・C. ウィリアムズ『病気はなぜ、あるのか―進化医学による新しい理解』（岩波書店）ISBN:978-4788507593

（関連ＵＲＬ）

https://sites.google.com/kyoto-u.ac.jp/goto-laboratory/(研究室ホームページ)

[授業外学修（予習・復習）等]

講義までに神経科学や精神医学などの入門書を読んでおくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

・学生教育研究災害傷害保険へ各自加入しておくこと。

・採点報告日(8月中旬)以降に集中講義で実施するため、成績報告が遅れる可能性があります。

・履修登録期間終了後、講義の日程調整ならびにガイダンスを行います。